

CIインサイトレポート

－ AD 2022 －

【 目次見本 】

§ レポート全体概要

調査対象 疾患	A D（アトピー性皮膚炎）	
調査ポイント・ topics	外用剤	<ul style="list-style-type: none"> ➤ コレクチムの処方状況、製品評価について分析/検証 ➤ 新規薬剤 モイゼルトの製品評価について検証、 処方動向（患者タイプ、既存薬との使い分け 等）について予測 ⇒ 今後の全体/製品（薬剤）別処方動向を予測！
	Bio （生物学的製剤）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ デュピクセントの処方状況について分析/検証 今後の処方動向（変化動向）について予測 ➤ 新規薬剤 ミチーガ、トラロキヌマブの製品評価について検証、 処方動向（患者タイプ、デュピクセントとの使い分け 等）について予測 ⇒ 今後の全体/製品（薬剤）別処方動向を予測！
	経口JAK	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 処方状況（処方割合、患者タイプ 等）について全体・製品別に 分析/検証 ➤ （医師クラス別）現状での問題点、処方・採用阻害要因について 分析/検証 ➤ FDAのwarning発出の問題による処方への影響度について検証 ⇒ 今後の全体/製品（薬剤）別処方動向を予測！
	将来動向	<p>相次ぐ新規薬剤の参入</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ <u>今後の剤型別/製品（薬剤）別の処方動向を徹底予測！</u> ⇒ AD市場の今後の方向性は？

■ 調査対象薬剤

*新規薬剤

既存薬	外用剤	ステロイド、タクロリムス（プロトピック 等）	
		JAK阻害薬	コレクチム（デルゴシコブ）
		PDE4阻害薬	モイゼルト（ジファミラスト）*
	経口剤	JAK阻害薬	[JAK1/2] オルミエント＜バリシコブ＞
			[JAK1] リンヴォック＜ウパダシコブ＞
			[JAK1] サイバインコ＜アバロシコブ＞*
	Bio （生物学的製剤）	IL-4/13	デュピクセント（デュピルマブ）
		IL-31	ミチーガ（ネリスマブ）*
		IL-13	トラロキヌマブ*
開発薬	外用剤	AhRアゴニスト	JTE-061 タピナロフ
	Bio （生物学的製剤）	IL-13	LY3650150 レプリキズマブ
			CC-93538 センダキマブ
		OX40	KHK4083

§ レポートPart別概要

調査種類	Part I データ分析編	Part II 定量調査編	Part III KOLヒアリング編
調査手法	(オープンソースを基にした) データ分析	インターネットによるWEB調査	デプスインタビュー
調査対象医師/ 対象医師数	—	AD患者を診療している医師 計 182名 [セグメント別内訳] Bio User 125名 Bio Non-user 57名	AD TOP KOL 3名 【関連学会 役員】
調査対象診療科 ＜施設種類＞	—	皮膚科＜HP/GP＞	皮膚科＜HP＞
調査内容	<p>＜既存薬＞ プロフィール、作用機序・特性、 薬価、販売高推移、臨床試験、 関連論文</p> <p>＜開発薬＞ プロフィール、作用機序・特性、 臨床試験、関連文献</p> <p>＜その他＞ 注目企業動向、学会情報</p> <p>＜別添＞ 抄録集（関連論文）</p>	<p>＜外用剤＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コレクチム処方状況、製品評価 ● 新規薬剤 処方意向、処方動向予測 <p>＜Bio＞ [User]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デュピクセント処方状況、製品評価 ● Bio全体処方動向予測 <p>[Non-User]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デュピクセント採用・処方予定、処方意向、 採用・処方阻害要因 <p>[全体]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規薬剤 処方意向、処方動向予測 ● 小児患者に対する処方意向 <p>＜経口JAK＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全体・薬剤別処方状況/非処方理由 ● 製品評価、問題点 ● FDAの警告発出による処方動向への 影響度 <p>等</p> <p>※特別設問</p>	<p>＜外用剤＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コレクチム製品評価、処方動向＊ ● 新規薬剤 製品評価、処方動向＊ ● 開発薬評価、新薬開発への要望 <p>＜Bio＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デュピクセント製品評価、処方動向＊ ● 新規薬剤 製品評価、処方動向＊ ● 小児患者処方動向予測＊ ● Bio将来動向予測＊ <p>＜経口JAK＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全体・製品処方状況、製品評価＊ ● warning(（FDAの警告）発出に対する 印象・見解/学会の動向＊ ● 国内処方動向予測＊ <p>等</p> <p>＊国内全体の実態/将来動向についての 検証/予測を含む</p> <p>※特別設問</p>
調査実施時期	2022年 4月 ～ 6月		
体裁／頁数	Part I・・・P P T（or E X C E L）、Part II & III・・・P P T / A 4 計約350ページ（報告書本編のみ、別添は含まない）		
レポート価格	レポート本編 ※オプション	フルセット＜3パート＞ ロウデータ ロウデータ + ターゲットマッチング	1 8 0 万円（税別） 6 0 万円（税別） 7 0 万円（税別） ＊Part別販売 可

< Part I データ分析編 目次 >

調査概要	3	IV. 学会情報	67
I. 既存品	4	IV-1. 日本皮膚科学会	68
I -1. プロファイル	5	IV-2. 日本皮膚免疫アレルギー学会	78
I -2. 作用機序・特性	18	IV-3. 日本小児皮膚科学会	84
I -3. 薬価	36	IV-4. 日本臨床皮膚科医会	87
I -4. 販売高推移	46	IV-5. アトピー性皮膚炎治療研究会	92
I -5. 臨床試験 (UMIN)	47	IV-6. 日本小児臨床アレルギー学会	96
I -6. 臨床試験 (JAPIC)	49	V. 関連文献	98
II. 開発品	50	V-1-1. 既存品・製品別	99
II -1. プロファイル	51	V-1-2. 既存品・複数	107
II -2. 作用機序・特性	54	V-2-1. 開発品・製品別	111
II -3. 臨床試験 (JAPIC)	57	V-2-2. 開発品・複数	116
III. 関連企業動向	58	V-3. 既存品+開発品	117

< Part II 定量調査 要約編 目次 >

調査概要	3
回答者プロフィール	4
§.Executive Summary	5
§.Summary	20
1)診療状況	21
2)治療薬処方状況	25
3)コレクチム処方状況・製品評価	29
4)新規外用剤認知状況・処方意向・処方動向	33
5)デュピクセント処方動向・製品評価 <Bio User>	40
6)デュピクセント認知状況/今後の採用・処方意向 <Bio Non-user>	48
7)新規生物学的製剤の認知状況・処方意向・期待内容	52
8)経口JAK阻害薬の処方状況・製品評価	66
9)今後の経口JAK阻害薬の処方動向	74
10)新薬開発ニーズ	83
11)薬剤選択の際に参考にするチャネル	90

< Part II 定量調査 結果編 目次 >

調査概要	3	6) デュピクセント認知状況/今後の採用・処方意向 <Bio Non-user>	66
回答者プロフィール	4	6-1.認知状況	67
§ 調査結果	5	6-2.所属施設の採用状況・処方予定・処方意向	68
1) 診療状況	6	6-3.所属施設の採用予定・採用予定時期・処方意向	70
1-1.診療患者数（人/3ヶ月）	7	7) 新規生物学的製剤の認知状況・処方意向・期待内容	73
1-2.年齢層別診療患者数	8	7-1.薬剤別治験参加状況	74
1-3.重症度別患者数	9	7-2.薬剤別認知状況	75
1-4.痒みの重症度別患者数	10	7-3.薬剤別処方意向・期待度	78
1-5.乾癬生物学的製剤使用承認状況/ガイドライン参考状況	11	7-4.薬剤別期待ポイント	82
2)治療薬処方状況	12	7-5.生物学的製剤全体処方動向予測（増加率） <Bio User>	89
3)コレクチム処方状況・製品評価	25	7-6.薬剤別小児患者に対する処方意向	90
3-1.処方状況	26	8) 経口JAK阻害薬の処方状況・製品評価	93
3-2.製品評価	34	8-1.処方状況	94
4)新規外用剤認知状況・処方意向・処方動向	39	8-2.薬剤別処方状況	95
4-1.薬剤別治験参加状況	40	8-3.薬剤別処方パターン	97
4-2.薬剤別認知状況	41	8-4.製品評価	99
4-3.薬剤別処方意向	44	8-5.重視する問題点	106
4-4.薬剤別処方動向（処方時切り替え対象薬剤）	48	8-6.非処方理由	108
5) デュピクセント処方動向・製品評価 <Bio User>	56	9)今後の経口JAK阻害薬の処方動向	110
5-1.直近6ヶ月間の処方開始患者数	57	9-1.FDAの警告発出による今後の処方への影響度	111
5-2.処方拒否状況	58	9-2.今後処方意向が高い薬剤	113
5-3.処方中止状況	59	10) 新薬開発ニーズ	129
5-4.製品評価	60	10-1.新規経口剤処方意向	130
5-5.処方満足度（満足度が低い患者割合）	63	10-2.新規外用剤への要望内容	132
5-6.今後の処方動向	65	10-3.新薬開発において重視する内容	137
		11)薬剤選択の際に参考にするチャネル	141

* 各ページ右上の **Bio User** **Bio Non-user** は
その設問の対象医師群を示す

< Part Ⅲ K O Lヒアリング編 目次 >

調査概要	3
§ Summary	5
§ 調査結果	20
1. 外用剤処方動向・製品評価	
1-1. コレクチム製品評価・処方動向	21
1-2. 新規薬剤モイゼルト製品評価・処方動向予測	24
1-3. 開発薬評価 / 新薬開発への要望	26
2. Bio処方動向・製品評価	
2-1. デュピクセント製品評価・処方動向	28
2-2. 新規薬剤製品評価・処方動向予測	33
2-3. 小児患者処方動向予測	36
2-4. 開発薬評価	39
2-5. Bio将来動向予測	41
3. 経口JAK処方動向・製品評価	
3-1. 経口JAK処方状況	43
3-2. 製品別処方状況・評価	47
3-3. warning発出に対する印象・見解 / 学会の動向	51
3-4. 国内処方動向予測	54